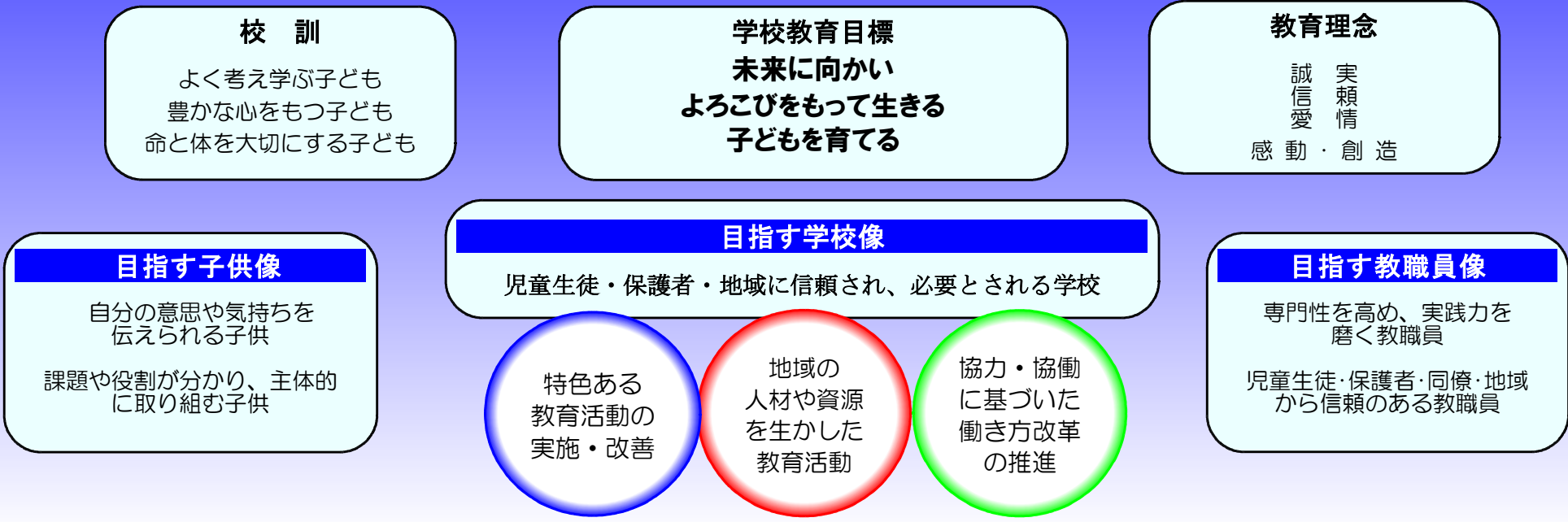


2 令和5年度（2023年度）学校経営方針及びグランドデザイン



育 成 を 目 指 す 資 質 ・ 能 力			
各学部	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
小学部	・日常生活動作の獲得と基本的生活習慣を身に付ける。	・様々なことに興味を持ち、体験や経験を重ねて、思ったこと、感じたことを表現したり、伝えたりできる。	・自他の区別が付き、身近な人や友達と友好的に関わろうとする。
中学部	・実生活で役立つ各教科等の基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける。	・今までの体験や経験から判断し、状況に応じた行動がとれる。	・自らの学習課題が分かり、主体的に取り組んだり、友達と協力したりして活動する。
高等部	・働くために必要な体力や生活習慣を身に付けるとともに、実生活に必要な各教科等の知識・技能を身に付ける。	・約束やルール、社会のきまりが分かり、場所や状況に応じた行動がとれる。	・お互いの考えや感情を大切にし、自分の役割や役目に応じて主体的に行動する。

教育方針	経営方針
児童生徒の人権を尊重し、一人一人の個性や教育的ニーズに応じ、将来の自立と社会参加に必要な力を育む指導の充実に努める。 1 学習指導要領に基づき、各学部において特色ある教育課程を編成・実施・改善し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育活動の推進に努める。 2 「個別的教育支援計画」の活用を通して保護者と連携するとともに、Afterコロナを見据えた地域の人材や資源の活用、交流及び共同学習を推進する地域とともにある教育の推進に努める。 3 現代の社会情勢の変化に対応した教育の推進や不測の事態等から身を守ることができるための安全教育の推進に努める。 4 キャリア発達を促し、地域での生活や活動が豊かなものになるように本人・保護者の意向等を尊重した指導・支援に努める。 5 基本的生活習慣や社会規範、集団での行動が身に付き、豊かな生活を送るための力を育む寄宿舎教育の充実に努める。	教職員一人一人が学校経営へ参画意識と職員間の協力・協働意識を持ち、組織的・計画的な学校運営に努める。 1 保護者や地域との連携のもと、地域とともにある学校づくりに努める。 2 教務、舎務、事務の各部門の役割分担と連帯のもと、健康で安心な教育環境の整備と、安全のための危機管理体制の整備に努める。 3 学舎の連携による校内支援の充実及び地域における特別支援教育の推進に努める。 4 教員育成指標に基づいた資質・能力及び特別支援教育の専門性の向上を図る研修の充実に努める。 5 児童生徒の人権や個性を尊重するとともに、法令に基づいたサービスの遂行に努め、説明責任を果たせる学校運営に努める。 6 教育活動・経営活動推進のため、学校予算の効率的な執行に努める。 7 長時間労働の解消のために、教職員一人一人が普段の業務を見つめ直し、効果的で質の高い教育活動に努める。

令和5年度の重点実践事項	
重点教育目標 各学部・寄宿舎の特色を生かし、地域と共に、学びに向かう意欲・関心・学習習慣を育む教育の充実に努める。	
教育活動推進の重点	経営活動推進の重点
□ 特色ある教育課程の実施・改善 ・学習指導要領に基づいた各学部における特色ある教育課程を編成し、実施・改善を行う。 ・各学部や寄宿舎において、生活年齢や発達段階に応じた課題設定を行い、児童生徒の生活の質が高まるような指導・支援を行う。 ・授業及び生活の中で、ICTを活用した教育活動を実践する。 □ 地域の人材や資源を生かした教育活動 ・地域の人材や資源を活用し、地域を教場とした学習を積極的に推進する。 ・地域に学び、地域に貢献する教育活動を推進する。 ・町内における交流及び共同学習の充実及び居住地交流の推進を図る。 □ 協力・協働に基づいた働き方の推進 ・教職員が心身ともに健康でやりがいを持って、児童生徒の指導・支援に当たることができる業務体制や指導体制を構築する。	□ 特色ある教育課程の実施・改善 ・各教科等の特質に応じた「見方・考え方」やICTの視点から教育計画や授業の在り方の改善・充実に努める。 ・情報通信等の技術の進展に対応する教育の推進に努める。 □ 地域の人材や資源を生かした教育活動 ・地域における体験的な学習を通じ、地域資源の活用や地域貢献を図る。 ・学校運営協議会を設置し、地域の実情に応じたコミュニティ・スクールを計画・実施する。 □ 協力・協働に基づいた働き方の推進 ・「北海道アクション・プラン」に基づいた学校における働き方改革の具体的な取組を進める。 ・教職員間の協力・協働に基づいた、業務に対する相互認識と役割分担による働き方の在り方を推進する。

資質・能力の育成及び重点実践の具体的な取組			
取組事項	特色ある教育課程の実施・改善	地域の人材や資源を生かした教育活動	協力・協働に基づいた働き方の推進
内容・方法	□ 各学部・寄宿舎において、特色ある教育活動の計画・実践・改善 □ 育成を目指す資質・能力を育む教育活動の推進（教科の見方や考え方を通した育成） □ 授業改善の視点からのICT教育の実践 □ 児童生徒の年齢や発達段階に応じたICTの効果的な授業及び生活での活用	□ コミュニティ・スクールの実施及び活動計画の検証（地域貢献活動の推進） □ Afterコロナの視点からの地域人材や資源を活用した学校及び寄宿舎における活動及び交流及び共同学習の在り方の検討	□ 年間を総体的に捉えた時間外勤務削減の実施及び自己の働き方の工夫・改善 □ 分掌業務の整理及び組織の再検討 □ 協力・協働に基づいた、児童生徒における学舎の課題設定や指導目標の共通理解と指導の一貫性の推進
評価	年度末反省	年度末反省／学校評価	年度末反省／学校評価

指導体制の充実	家庭・地域との連携・協働
・学びの連続性を意識した教育活動の実践を支える学部間の連携 ・学校と寄宿舎による指導の一貫性についての連帯 ・本校と分校による学校運営上の連絡	・学校運営協議会及びPTAによる学校経営上の助言 ・町教委や社会福祉協議会等との連携による地域とともにある学校づくり ・特別支援学級設置校との連携による地域の特別支援教育の推進・充実